



「時代の鏡」に映る未来～新しい風を、育む力に～

新緑の季節を過ぎ、子どもたちの元気な声が一段と力強く響く季節となりました。日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

N世代の変遷と若者の変化 >> 「Z世代」がもたらす新しい風と、私たちの歩み

さて、最近ニュースなどで「Z世代」という言葉をよく耳にされるのではないのでしょうか。一般的に、1990年代後半から2010年代初頭に生まれた若者たちを指す言葉だそうです。

私が社会に出たばかりの頃、職場の少し上の先輩方がかつて「新人類」と呼ばれて世間を賑わせたという話を懐かしく思い出します。また、私の世代は氷河期世代と言われ、激しい競争や就職難、インターネットの登場など時代ごとの大きな変化の中で揉まれながら歩んできました。「今の若い世代の考えていることはよく分からない」—これはいつの時代にも繰り返されてきた、いわば「時代の風物詩」のようなものです。

客観的なデータから見えること >> データが映し出す、若者と大人社会の「共通の願い」

データに目を向けると、面白い事実が浮かび上がってきます。

例えば、内閣府の若者意識調査では、今の若い世代は「社会の役に立ちたい」という意識や、環境・多様性を思いやる気持ちが他世代に比べても非常に高いことが示されています。また、博報堂生活総研が今の若者とその親世代の意識を比較した「若者30年変化調査」によると、実は「お互いの違いを認め合う」「心地よさを大切にする」といった感覚は、若者だけでなくその親世代（私たち大人社会）の間でも同じように高まっていることが分かっています。

つまり、今の若者たちが持つ感覚は、決して彼らだけの特別なものではなく、今や社会全体の「これからのスタンダード（一般化）」になりつつあるのです。若手の変化とは、まさに「一歩先の時代の変化を映し出す鏡」そのものと言えます。

伝統の教えと現代社会のリアル >> 「不易流行」の精神で生き抜く、脆くて不可解な「BANIの時代」

「不易流行（ふえきりゅうこう）」という、松尾芭蕉が示したとされる言葉があります。いつの時代も変えてはならない本質（不易）を大切にしながらも、新しく変化していく時代を柔軟に取り入れていく（流行）ことの大切さを説いた教えです。

今、世界は予測困難な「VUCA（ブーカ）」を超え、さらに進んだ「BANI（バニ）の時代」を迎えていると言われています。

- ✿ BRITTLE（これまでの仕組みが簡単に脆く崩れる）
- ✿ ANXIOUS（先が見えず、誰もが不安を抱えやすい）
- ✿ NON-LINEAR（予想もしないことが突然起きる、非線形な社会）
- ✿ INCOMPREHENSIBLE（これまでの常識では不可解で理解できない）

まさに、昨日までの正解が明日には通用しなくなるような時代です。そんな「脆くて不可解な時代」を生き抜く子どもたちに必要なのは、テストの点数だけで測れる力だけではありません。

これからの教育と身につけたい力 >> これからの時代を生き抜く「非認知能力」～心の根っこを育てる～

そのような中、教育の現場で特に注目されているのが「非認知能力」です。これは、目には見えないけれど、人生を豊かに生き抜くための「心の根っこ」となる力のことです。

- ✿ 自分の不安や感情をコントロールする力（自己管理能力）
- ✿ 正解のない問いに対して、他者と力を合わせて進む力（協調性）
- ✿ 失敗や変化に直面しても、しなやかに立ち直る力（回復力・レジリエンス）

これからの時代に求められるのは、前例がないことに対しても「まずはやってみよう」と柔軟に形を変えて対応できる力です。若者たちがもたらす新しい風を「理解できないもの（INCOMPREHENSIBLE）」と遠ざけるのではなく、「時代の変化のサイン」として私たち大人がしなやかに受け止めていく姿こそが、子どもたちの身近な手本となります。

時代の風を感じながら、共に歩む未来へ

学校教育においても、子どもたちが安心して失敗し、お互いの違いを認め合いながら、この「非認知能力」をじっくりと育ていけるよう、教職員一同、時代の風を敏感に感じ取りながら日々の実践を積み重ねてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様。移り変わる時代の中で、変わらない温かさで子どもたちを見守りつつ、共に新しい未来への一歩を踏出してまいりましょう。今後どうぞよろしくお願いいたします。

絆が生んだ、挑戦と成長の運動会

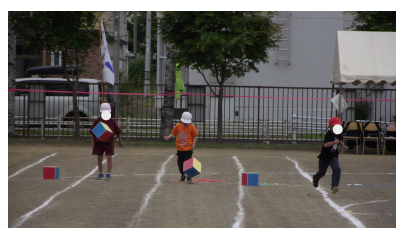
心のバトン 未来へつなぐ

今年度の運動会は、「心のバトン」をテーマに実施しました。子どもたちは仲間と支え合いながら全力で取り組み、あきらめずに挑戦する姿や思いやりのある行動がたくさん見られました。心のつながりを感じる、実りある一日となりました。

第1学年



第2学年



第3学年



第4学年



第5学年



第6学年



体験と日常の学びがつくる「深い学び」 学びが広がる 学校生活

体験的学習や見学学習をはじめ、日々の授業や話し合い活動など、さまざまな場面で子どもたちの学びが広がっています。実際に見て感じる学びはもちろん、教室でじっくり考えを深める時間も大切にしながら、一人一人が主体的に学ぶ姿が見られます。

第1学年



生活科 神社探検



生活科 神社探検



歯磨き指導

第2学年



ラウンPK青空教室
鳥羽農場さん協力



ラウンPK青空教室
鳥羽農場さん協力



図画工作

第3学年



総合的な学習の時間
JA足寄産協力



総合的な学習の時間 道の駅で取材



総合的な学習の時間
JA足寄産協力

第4学年



社会科 水のゆくえ
足寄町役場協力

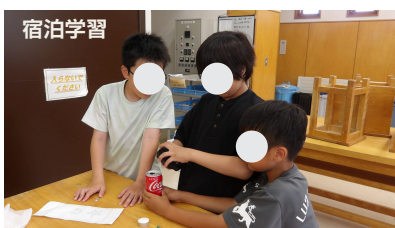


社会科 水のゆくえ
足寄町役場協力



社会科 水のゆくえ
足寄町役場協力

第5学年



宿泊学習



宿泊学習



宿泊学習

第6学年



家庭科 洗濯実習



家庭科 洗濯実習



家庭科 洗濯実習

足寄小学校 6月のひとこま

訓練

不審者対応教室

自分の命を守る力を育てる～安心・安全に過ごすためにできること～

6月11日、マクドナルドの方を講師にお招きし、不審者対応教室を行いました。子どもたちは、「こんなときどうする?」という問いかけに一生懸命考えながら参加していました。また、知らない人に声をかけられたらどうする?」「危険を感じたときはどう行動する?」など、自分の身を守るために大切なことを、クイズや実演を交えながら分かりやすく教えていただきました。実際に声を出して助けを求めたり、素早く逃げる動きをロールプレイする場面では、少し緊張しながらも真剣に考える姿が見られました。

学校では、「いかのおすし」という大切な合言葉を確認し、いざという時に自分の命を守る行動ができるよう指導しています。訓練を通して、一層、防犯意識を高めることができました。

子どもたちの安全を守るためには、学校と家庭、地域が連携していくことが大切です。今回の学びをぜひご家庭でも話題にいただき、日常生活の中での安全について考える機会にしていいただければと思います。



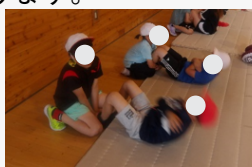
授業

新体力テスト

一人一人の成長を目指して～健やかな成長の基盤づくり～新体力テスト

本校では、子どもたちの体力の実態を把握し、よりよい体育指導や健康づくりにつなげることを目的として、新体力テストを実施しております。今年度も、子どもたちは自分の記録向上を目標に、最後まであきらめずに取り組む姿が見られました。友達の頑張りに拍手を送ったり、声をかけ合ったりする姿からは、体力の向上だけでなく心の成長も感じられます。

新体力テストは、子どもたち一人一人が自分の体力の特徴を知り、運動への意欲を高めるとともに、日常的に体を動かす習慣づくりへとつなげていくことをねらいとしています。また、結果をもとに、学校全体として運動内容を工夫したり、個々に応じた支援を行ったりすることで、継続的な体力向上を図ってまいります。



特に第5学年では、中学校との小中連携の一環として、中学校の施設を活用し、共通の視点で体力テストを実施しました。子どもたちは中学校の雰囲気を実際に感じながら、上級生への憧れや進学への見通しをもつ貴重な機会となりました。こうした取組は、児童の円滑な接続を図るとともに、発達段階に応じた一貫した体力づくりを進める上でも大きな意義があります。

体力は、学習や生活の基盤となる大切な力です。本校では、今後も体育の授業や日常の活動を通して、子どもたちが「体を動かす楽しさ」を実感しながら、健やかに成長できるよう取り組んでまいります。

ご家庭や地域の皆様におかれましても、子どもたちが外で遊ぶ機会を大切にしていいただくなど、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

行事予定

7月の予定

- 1日(水) 水泳6年
- 2日(木) 職員会議
- 3日(金) 水泳4年 縦割り給食
- 6日(月) 水泳3年
- 7日(火) 社会科見学4年
- 8日(水) 水泳5年 授業参観日(1・2年)
- 9日(木) 授業参観日(3・6年)
- 10日(金) 水泳1・2年 授業参観日(4・5年)
- 13日(月) 水泳4年
- 15日(水) 水泳1・2年 アイヌ文化学習4年
- 17日(金) クラブ
- 20日(月) 海の日
- 22日(水) 水泳3年
- 24日(金) 1学期終業式 大掃除
- 夏季休業 7月25日(土)～8月24日(月)

学び合い 支え合う異学年交流

本校では、今年度より異学年の子ども同士が関わることを通して、思いやりや社会性を育てることを大切に「縦割り活動」(異学年交流)を行っています。年齢の異なる仲間と関わる経験は、相手の立場を考えた言動や協力する態度を身につけるうえで有効であり、教育的にも重要と考えています。

今年度の第1回は、運動会に向けた総決起集会を行い、学年をこえて心をつなげる貴重な機会となりました。第2回は、7月3日に縦割り給食を予定しており、日常の中での自然な交流を通して、より一層の関わりの深まりが期待されます。

こうした活動を通して、上級生はリーダーシップや責任感を、下級生は安心感や憧れの気持ちを育み、子ども一人一人の成長と学校全体の温かなつながりを大切にしていまいります。